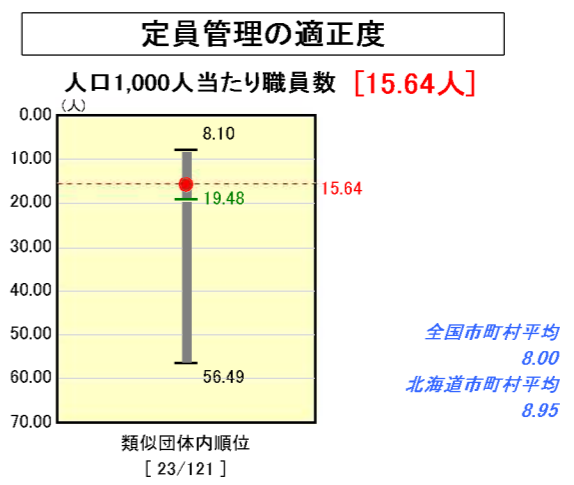
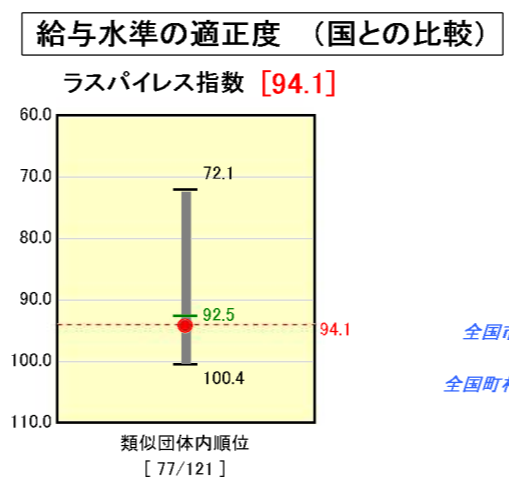
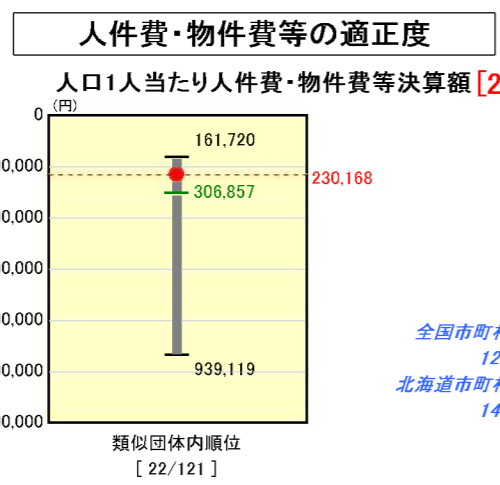
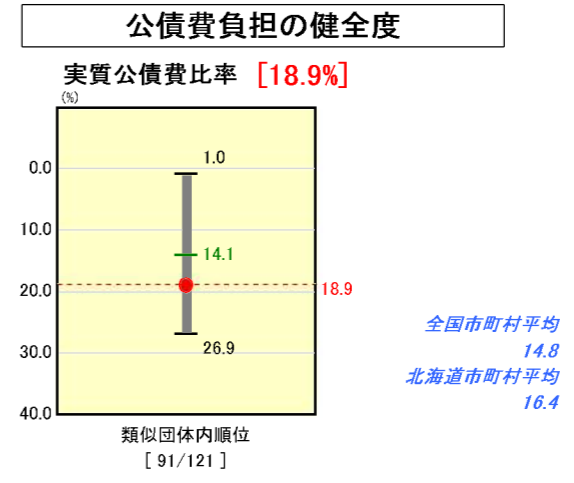
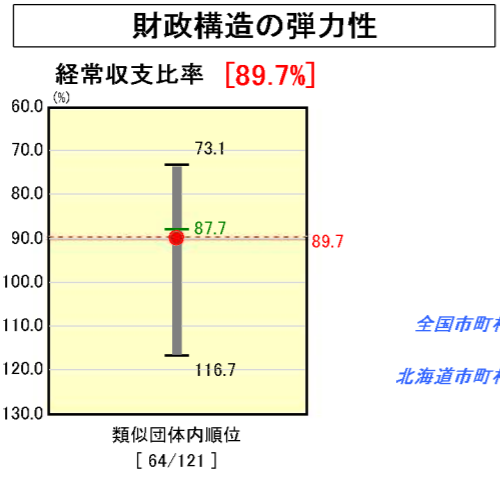
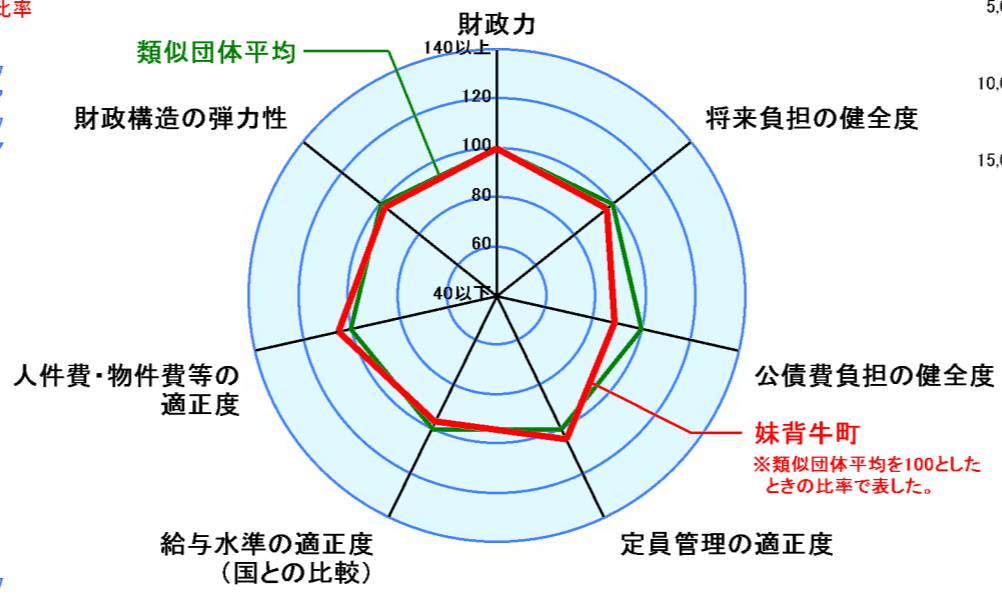
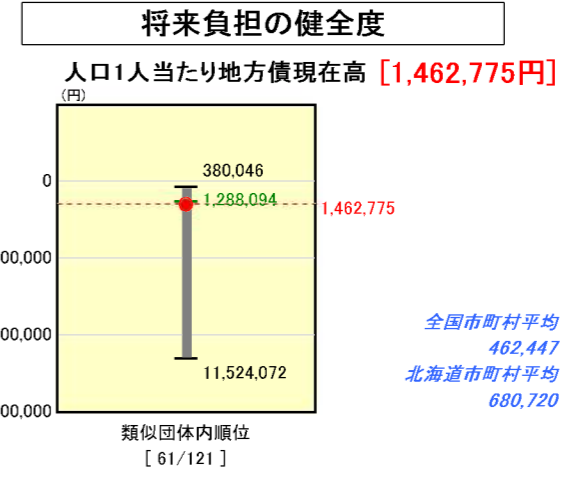
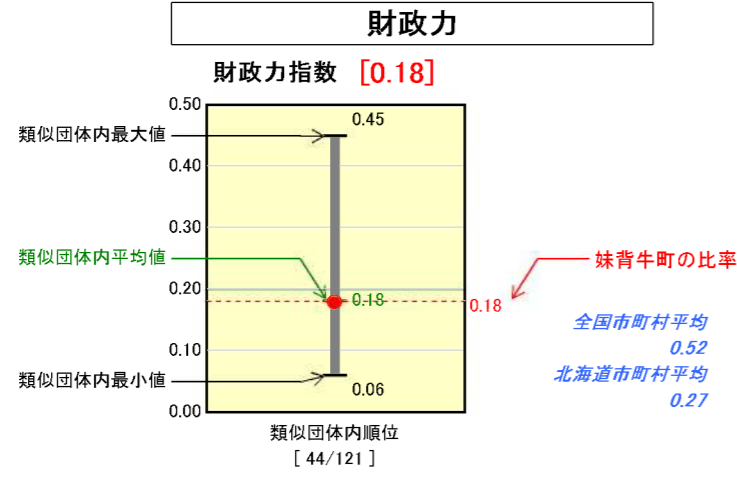


市町村財政比較分析表(平成17年度普通会計決算)

北海道 妹背牛町

人口	3,964	人(H18.3.31現在)
面積	48.55	km ²
歳入総額	2,925,401	千円
歳出総額	2,890,992	千円
実質収支	34,409	千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

財政力指数：現在類似団体内平均値ではあるものの、長引く景気の低迷による個人・法人関係の減収などから、退職者不補充等による職員数の削減、緊急に必要な事業を峻別し、投資的経費を抑制する等、歳出の徹底的な見直しを実施する。

経常収支比率：扶助費、公債費の増加により89.7%と類似団体平均を上回っている。引き続き職員の給与カット等による人件費の削減及び事務事業の見直し等を進め経常経費の削減に努め現在の水準以下を維持するよう努めていく。

人口1人当たり人件費・物件費等決算額：類似団体平均と比較して、人件費・物件費等の適正度が低くなっている。要因として職員数の削減や給与カット、事務事業の見直し等に係る需用費(消耗品、印刷製本費等)の削減効果によるものであり、引き続きこれら経費の抑制を継続する必要がある。

人口1人当たり地方債現在高：昨年度より若干減額となったものの、類似団体平均値を上回っている。要因として平成14年度より実施した大型事業(米穀乾燥調製貯蔵施設建設事業、カーリングホール建設事業)等であるが、今後国土改良事業に係る起債も見込まれるため新規起債の抑制等、財政健全化に努める。

実質公債費比率：普通建設事業に係る起債の償還等に伴い上昇しており、類似団体平均値を上回っている。妹背牛町公債費負担適正化計画に基づき、起債依存型事業を見直し、平成21年度を目標に18%以下に低下させるべく財政運営に努める。

人口1,000人当たり職員数：過去からの退職者不補充、新規採用者抑制の実施により類似団体平均値を下回っている。今後もITの活用等により、行政サービスを維持しつつ今後更なる職員の削減を実施していく。

ラスパイルズ指数：平成17年度より職員の給与カット等実施しているが、職員平均年齢が高いことから類似団体平均値を上回っている。今後は地域給の導入等、給与の適正化に努める。